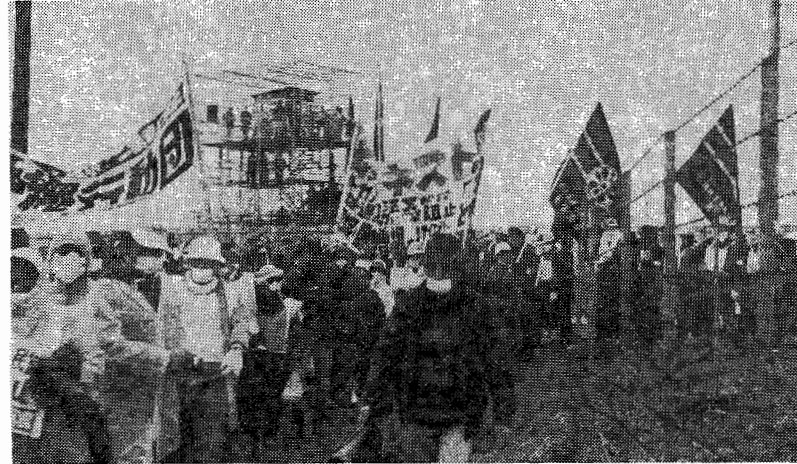


二期用地内の会場へ1万2千8百名が 3・30三里塚に動労千葉400名で登場 大結集



「敷地内を死守し、必ず二期阻止・廃港かちとる」——勢ぞろいして不屈の決意を表明する敷地内住民。左から、小川、島村、市東、小川、加藤、加藤の各氏。一期欠陥空港沿いにテントを築き、空港内の監視ヤグラの上から戦々とした機動隊員。二重・三重のバリケードに一万の機動隊をばりつけ、



三月三十日、東峰において三里塚反対同盟主催の二期工事阻止、不法収用法弾劾、東峰裁判闘争勝利、成田用水実力阻止、脱落派粉碎・一掃、三・三〇全国総決起集会」が全国から一二八〇〇名の労働者、学生、市民、住民を集め開催され、二期本格着工の突破口である成田用水工事の年度内完成を完全に粉碎し、二期阻止へ大きな勝利をかちとりつつあることを全体で確認すると共に、中曽根の戦争攻撃粉碎へ、総力で闘いぬくことを誓い合った。

「成田用水闘争に勝利した」——高らかに宣言！

集会は、全く不当にも権力と一体となった成田市が集会場を一切借さないという妨害の中、二期敷地内・東峰の萩原進さんの畑で開催された。青行隊の伊藤晴信さん、婦人行動隊の平山ヒデさん・木内敦子さんの司会で進められた集会は、「二期阻止へ勝利を確信できる」という島村良助さんの主催者代表あいさつをうけたのち、北原事務局長より基調報告を受けた。北原事務局長は、この中で、成田用水年度内完成を阻止したばかりか、今後完成の目度の立たない所まで追いこんだ。「同盟は成田用水粉砕闘争に勝利した」と高らかに勝利宣言を発すると共に、追いつめられた政府・公団は藤尾政調会長の現地視察に示されるように、二期促進のため凶暴な攻撃に出ようとしていることを明らかにし、用水闘争勝利の地平にふまえ、五月二五日・出直し開港強行の日、再び全国結集で、決戦勝利の突破口を切り拓こうと訴えられた。

続いて、反対同盟救援会の萩原勇一さん、顧問弁護団の葉山弁護士、東峰被告三君を守る会幹事



会場埋め尽くした1万2千8百名の労働学生市民に決意を明らかにする中野委員長。

日刊 動労千葉

86. 4. 3

No. 2206

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）

（決意を九時半、会場の闘争（22）七〇七）

本とし子
さんが立
ち、東峰
十字路裁
判闘争勝
利へ向け、十名の新たな弁護団を結成したことを報告するとともに、全員無罪獲得のため総力を結集して闘うことを訴えられた。

東峰被告三君を代表してあいさつした島村昭治さんは、無実をかちとるためにこそ二期決戦勝利が不可欠、最後まで闘うと力強い決意を明らかにされた。

闘いはこれから、第三波、第四波の
闘いで首切り阻止、中曽根打倒を
——中野委員長決意！

特別報告に立った中野委員長は、勝利に向け不屈に闘う反対同盟に敬意を表するとともに、国鉄決戦勝利に向け動労千葉は、二波のストを貫徹し圧倒的勝利の地平を切り開いたこと、全国鉄労働者の決起へ向け全国に打って出ることを明らかにし、三里塚・国鉄で、「分割・民営化」一十万人首切り阻止、中曽根打倒へつき進む決意を明らかにした。

このあと反対同盟の決意表明に入り、自主耕作委員会を代表し鈴木幸司さん、敷地内を代表し市東東市さん、婦人行動隊を代表して郡司とめさん、青年行動隊を代表して宮本衛くんがそれぞれ闘う決意を明らかにした。

関西空港反対住民代表、日本原、北富士、沖縄、部落解放同盟荒本支部、小松ファントム訴訟団など、全国から結集した住民団体の決意をうけ、集会宣言、スローガン採択、団結ガンバローを三唱し、直ちにデモ行進に出発した。

デモ終了後、機動隊の不当な交通規制により二時間近くもバスを止められるという事態に対し、全員が怒りに燃え、必ず中曽根を打ち倒してやるという決意を打ち固めあい、解散した。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！